



2021年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 加藤産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 9869 URL <http://www.katosangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 和弥

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 次家 成典

TEL 0798-33-7650

四半期報告書提出予定日 2021年5月14日

配当支払開始予定日

2021年6月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績(2020年10月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|---------|-----|-------|-----|-------|-----|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年9月期第2四半期 | 564,800 | 3.0 | 6,554 | 4.0 | 7,351 | 2.6 | 4,590 | 1.2 |
| 2020年9月期第2四半期 | 548,324 | 3.2 | 6,301 | 5.8 | 7,163 | 4.2 | 4,643 | 21.4 |

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 6,217百万円 (24.4%) 2020年9月期第2四半期 4,996百万円 (317.3%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年9月期第2四半期 | 128.75 | |
| 2020年9月期第2四半期 | 130.26 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年9月期第2四半期 | 376,588 | 134,755 | 34.4 |
| 2020年9月期 | 368,676 | 129,563 | 33.8 |

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 129,582百万円 2020年9月期 124,697百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年9月期 | | 33.00 | | 33.00 | 66.00 |
| 2021年9月期 | | 36.00 | | | |
| 2021年9月期(予想) | | | | 36.00 | 72.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-----------|-----|--------|-----|--------|-----|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,130,000 | 2.3 | 11,100 | 4.1 | 12,600 | 4.6 | 8,200 | 9.4 | 233.03 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2021年2月12日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2021年9月期2Q | 38,153,115 株 | 2020年9月期 | 38,153,115 株 |
| 期末自己株式数 | 2021年9月期2Q | 2,503,171 株 | 2020年9月期 | 2,503,129 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2021年9月期2Q | 35,649,972 株 | 2020年9月期2Q | 35,650,198 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算説明会開催日後、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 11 |
| (セグメント情報) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの感染防止対策と社会経済活動の両立や海外経済の改善等によって、製造業など一部では景況感が好転しているものの、感染が再拡大したことで引き続き先行きが見通せない状況となりました。

食品流通業界におきましては、日常の生活関連消費については消費者の節約志向が根強く、生活防衛意識の高まりが続いております。また、消費者の食生活や購買行動の多様化が進み、小売業の業種・業態を超えた競争が激しくなっております。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大により消費者の生活スタイルが大きく変化し、家庭内消費に関連する需要は堅調である一方、外食関連の需要については低迷が続いております。

このような状況に対して当社グループは、グループミッションである『豊かな食生活を提供して人々の幸せを実現すること』を目指して、デジタル技術も活用しながら、取引先との取組み強化、働き方の改革及び生産性の向上に取り組んでまいりました。そして、新型コロナウイルス感染拡大の中でも、食のインフラを担う食品卸売業として仕入先や得意先、物流関連などの取引先と連携し、食品の安定供給という社会的使命を果たしてまいりました。

海外事業におきましては、今後の当社グループの成長戦略の一つとして位置づけ、マレーシア・シンガポール・ベトナム・中国国内での食品卸売事業の展開を図っており、日本を含めたアジア地域における食品流通事業の強化を進めてまいりました。そして、2020年10月にはマレーシア半島部中南部を営業地域とするMerison (M) Sdn. Bhd.の株式を取得して連結子会社とし、これにより当社グループはマレーシア半島部全域を営業地域とする同国最大級の卸売業グループとなりました。加えて、2021年4月にはベトナム南部を営業地域とするSong Ma Retail Joint Stock Companyの株式譲渡契約を締結し、ベトナムにおいても既存事業のさらなる拡大を図ってまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期に比べて3.0%増加して5,648億円となり、営業利益は65億54百万円（前年同四半期比4.0%増）、経常利益は73億51百万円（前年同四半期比2.6%増）となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券評価損の影響により前年同四半期に比べて1.2%減少して45億90百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

<常温流通事業>

当社グループの主力事業であります常温流通事業につきましては、新型コロナウイルスの影響により家庭内消費に関連する需要は堅調であるものの、日常の生活関連消費においては節約志向の強さが続いております。また、物流を中心としたコスト負担も大きく、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況に対して、価格だけに頼らない価値の提供に取り組むために提案型営業をさらに推進し、仕入先との取組み強化及び得意先との関係強化を図るとともに、自社ブランド商品の開発・販売においてもブランド価値・商品価値の訴求を進めてまいりました。加えて、デジタル技術も活用しながら業務の生産性向上に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は3,872億10百万円（前年同四半期比2.7%増）となり、営業利益は52億63百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。

<低温流通事業>

低温流通事業につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により冷凍食品など家庭内消費に関連する需要は伸長するものの、惣菜や外食関連の需要は低迷しております。また、物流を中心としたコスト負担も大きく、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況に対して、新規取引による売上拡大及び利益改善に努めるとともに、業務の効率化や生産性向上によるコスト抑制に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は535億42百万円（前年同四半期比2.7%増）となり、営業利益は1億51百万円（前年同四半期は営業損失17百万円）となりました。

<酒類流通事業>

酒類流通事業につきましては、消費者の低価格志向が続いている一方で、価格と価値が伴った商品や健康志向に対応した機能性商品への需要の拡大が見られ、消費の二極化が一層鮮明になっております。また、飲酒人口の減少や若年層のアルコール離れ、加えて新型コロナウイルス感染拡大により家庭内消費は増加しているものの、外食を中心とした飲酒機会の減少によって酒類市場は縮小傾向が続いております。加えて、物流を中心としたコスト負担も大きく、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況に対して、主要取引先との取組み強化及び自販力・提案型営業の強化を進めるとともに、商品毎の利益管理を徹底し、さらに業務の効率化や生産性の向上を図ることでローコストオペレーションに取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は既存得意先との取引拡大等により987億74百万円（前年同四半期比2.3%増）となりましたが、外食需要の大幅な減少による収益低下の影響が大きく営業利益は4億7百万円（前年同四半期比8.5%減）となりました。

<海外事業>

海外事業につきましては、マレーシア・シンガポール・ベトナム・中国国内での食品卸売事業の展開を図っており、既存の海外卸売業としてのベースに加え、日本国内で培ってきた営業力の浸透及び経営管理の定着を図ってまいりました。

以上の結果、売上高は2020年10月に株式を取得したMerison (M) Sdn. Bhd. の連結化により220億31百万円（前年同四半期比12.9%増）となり、営業利益はのれんの償却負担の減少もあり1億1百万円（前年同四半期比15.1%増）となりました。

<その他>

その他の事業につきましては、物流関連事業がその主な内容であり、売上高は外食関連需要の減少等により67億15百万円（前年同四半期比0.7%減）となり、営業利益は6億7百万円（前年同四半期比12.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて79億11百万円増加し3,765億88百万円となりました。

流動資産は、主に現金及び預金が減少した一方で、売上債権及びたな卸資産が増加したことから、10億28百万円増加し2,501億69百万円となりました。また固定資産は、有形固定資産の取得及び投資有価証券の時価評価額の上昇等により増加したことから、68億83百万円増加し1,264億18百万円となりました。

流動負債は、主に仕入債務が減少した一方で、未払金及び短期借入金が増加したことから、21億68百万円増加し2,164億23百万円となり、固定負債は、投資有価証券の時価評価額の上昇等により繰延税金負債が増加したことから、5億51百万円増加し254億9百万円となりました。

純資産は、51億91百万円増加し1,347億55百万円となり、その結果、自己資本比率は34.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて50億47百万円減少（前年同四半期は40億42百万円の資金の減少）したことから、784億円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは10億83百万円の資金の増加（前年同四半期は19億69百万円の資金の減少）となりました。その主な要因は、売上債権の増加32億15百万円、法人税等の支払25億63百万円、仕入債務の減少12億52百万円等により資金が減少した一方で、税金等調整前四半期純利益71億82百万円、減価償却費19億70百万円等により資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは38億円の資金の減少（前年同四半期は76百万円の資金の減少）となりました。その主な要因は、有価証券の償還による収入等により資金が増加した一方で、有形固定資産の取得及びMerison (M) Sdn. Bhd. 株式の取得等により資金が減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは23億46百万円の資金の減少（前年同四半期は20億円の資金の減少）となりました。その主な要因は、配当金の支払によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月13日の「2020年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日) |
|-----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 84,250 | 79,320 |
| 受取手形及び売掛金 | 130,489 | 135,200 |
| リース投資資産 | 656 | 659 |
| 有価証券 | 1,004 | — |
| 商品及び製品 | 24,393 | 25,625 |
| 仕掛品 | 3 | 6 |
| 原材料及び貯蔵品 | 288 | 264 |
| その他 | 8,719 | 9,764 |
| 貸倒引当金 | △664 | △672 |
| 流動資産合計 | 249,141 | 250,169 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 13,184 | 17,437 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,327 | 2,276 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 838 | 1,007 |
| 土地 | 23,994 | 24,385 |
| リース資産(純額) | 1,653 | 1,547 |
| 建設仮勘定 | 1,212 | 673 |
| その他(純額) | 415 | 398 |
| 有形固定資産合計 | 43,624 | 47,726 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 705 | 827 |
| ソフトウェア | 4,925 | 5,511 |
| 電話加入権 | 45 | 45 |
| その他 | 107 | 187 |
| 無形固定資産合計 | 5,784 | 6,571 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 43,820 | 46,220 |
| 差入保証金 | 5,972 | 6,197 |
| 投資不動産(純額) | 3,191 | 2,987 |
| 繰延税金資産 | 250 | 376 |
| 退職給付に係る資産 | 1,904 | 2,016 |
| リース投資資産 | 9,739 | 9,408 |
| その他 | 5,358 | 5,020 |
| 貸倒引当金 | △110 | △109 |
| 投資その他の資産合計 | 70,125 | 72,119 |
| 固定資産合計 | 119,534 | 126,418 |
| 資産合計 | 368,676 | 376,588 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 196,160 | 195,113 |
| 短期借入金 | 1,257 | 3,052 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 17 | 27 |
| リース債務 | 1,329 | 1,341 |
| 未払金 | 9,899 | 11,845 |
| 未払費用 | 381 | 391 |
| 未払法人税等 | 2,611 | 2,313 |
| 未払消費税等 | 211 | 119 |
| 賞与引当金 | 1,265 | 1,197 |
| 役員賞与引当金 | 60 | 28 |
| その他 | 1,059 | 991 |
| 流動負債合計 | 214,255 | 216,423 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | — | 145 |
| リース債務 | 11,129 | 10,709 |
| 繰延税金負債 | 5,292 | 6,102 |
| 役員退職慰労引当金 | 367 | 362 |
| 退職給付に係る負債 | 5,344 | 5,310 |
| 資産除去債務 | 172 | 170 |
| その他 | 2,551 | 2,607 |
| 固定負債合計 | 24,857 | 25,409 |
| 負債合計 | 239,112 | 241,832 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,934 | 5,934 |
| 資本剰余金 | 8,760 | 8,760 |
| 利益剰余金 | 101,745 | 105,159 |
| 自己株式 | △6,550 | △6,550 |
| 株主資本合計 | 109,890 | 113,303 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 15,344 | 16,790 |
| 繰延ヘッジ損益 | 1 | 1 |
| 為替換算調整勘定 | △841 | △764 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 302 | 251 |
| その他の包括利益累計額合計 | 14,807 | 16,279 |
| 非支配株主持分 | 4,866 | 5,172 |
| 純資産合計 | 129,563 | 134,755 |
| 負債純資産合計 | 368,676 | 376,588 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 548,324 | 564,800 |
| 売上原価 | 511,656 | 527,641 |
| 売上総利益 | 36,667 | 37,158 |
| 販売費及び一般管理費 | 30,366 | 30,603 |
| 営業利益 | 6,301 | 6,554 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 122 | 88 |
| 受取配当金 | 407 | 383 |
| 持分法による投資利益 | 43 | 9 |
| 為替差益 | 9 | 32 |
| 不動産賃貸料 | 170 | 177 |
| 売電収入 | 49 | 51 |
| その他 | 252 | 269 |
| 営業外収益合計 | 1,055 | 1,013 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 58 | 49 |
| 不動産賃貸費用 | 82 | 86 |
| 貸倒引当金繰入額 | 1 | 19 |
| 売電費用 | 29 | 26 |
| その他 | 20 | 34 |
| 営業外費用合計 | 193 | 216 |
| 経常利益 | 7,163 | 7,351 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 7 | 11 |
| 投資有価証券売却益 | — | 0 |
| 受取保険金 | 7 | — |
| 特別利益合計 | 15 | 11 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 10 | 23 |
| 災害による損失 | 72 | — |
| 投資有価証券売却損 | — | 0 |
| 投資有価証券評価損 | — | 152 |
| リース解約損 | 0 | 3 |
| 特別損失合計 | 84 | 180 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 7,093 | 7,182 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,218 | 2,245 |
| 法人税等調整額 | △43 | 72 |
| 法人税等合計 | 2,175 | 2,318 |
| 四半期純利益 | 4,918 | 4,864 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 274 | 274 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 4,643 | 4,590 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 4,918 | 4,864 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △34 | 1,313 |
| 繰延ヘッジ損益 | 1 | 0 |
| 為替換算調整勘定 | 139 | 98 |
| 退職給付に係る調整額 | △21 | △50 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △7 | △8 |
| その他の包括利益合計 | 78 | 1,353 |
| 四半期包括利益 | 4,996 | 6,217 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 4,624 | 6,062 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 371 | 155 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 7,093 | 7,182 |
| 減価償却費 | 1,935 | 1,970 |
| のれん償却額 | 256 | 185 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △32 | 2 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | △13 | △4 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 33 | △94 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △22 | △31 |
| 退職給付に係る資産の増減額 (△は増加) | △194 | △207 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | △54 | △11 |
| 受取利息及び受取配当金 | △529 | △472 |
| 支払利息 | 58 | 49 |
| 為替差損益 (△は益) | △2 | △23 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △43 | △9 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | — | △0 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | — | 152 |
| 有形固定資産売却損益 (△は益) | △7 | △11 |
| 有形固定資産除却損 | 10 | 22 |
| 受取保険金 | △7 | — |
| リース解約損 | 0 | 3 |
| 災害損失 | 72 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △10,801 | △3,215 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △1,420 | △534 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 4,044 | △1,252 |
| リース投資資産の増減額 (△は増加) | 325 | 327 |
| その他 | △1,144 | △817 |
| 小計 | △443 | 3,211 |
| 利息及び配当金の受取額 | 588 | 484 |
| 利息の支払額 | △58 | △49 |
| 法人税等の支払額 | △1,984 | △2,563 |
| 保険金の受取額 | 7 | — |
| 災害損失の支払額 | △78 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △1,969 | 1,083 |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △157 | △534 |
| 定期預金の払戻による収入 | 96 | 432 |
| 有価証券の償還による収入 | — | 1,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,588 | △2,369 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 64 | 92 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △774 | △469 |
| 有形固定資産の除却による支出 | △2 | △4 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △607 | △694 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 15 |
| 投資有価証券の償還による収入 | 3,000 | — |
| 投資不動産の取得による支出 | △34 | — |
| 貸付けによる支出 | △1 | △1 |
| 貸付金の回収による収入 | 10 | 8 |
| 敷金の差入による支出 | △186 | △12 |
| 敷金の回収による収入 | 104 | 17 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △1,280 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △76 | △3,800 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △53 | △83 |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △119 | △350 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △1 |
| 配当金の支払額 | △1,069 | △1,176 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △56 | △27 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △700 | △706 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △2,000 | △2,346 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 3 | 15 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △4,042 | △5,047 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 75,588 | 83,447 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 71,545 | 78,400 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|------------|------------|------------|--------|---------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 常温流通 事業 | 低温流通 事業 | 酒類流通 事業 | 海外事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 376,592 | 51,978 | 96,495 | 19,508 | 544,575 | 3,748 | 548,324 | — | 548,324 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 299 | 140 | 13 | — | 453 | 3,011 | 3,465 | △3,465 | — |
| 計 | 376,892 | 52,118 | 96,509 | 19,508 | 545,029 | 6,760 | 551,789 | △3,465 | 548,324 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 5,080 | △17 | 445 | 87 | 5,596 | 694 | 6,291 | 9 | 6,301 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に物流事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額9百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|------------|------------|------------|--------|---------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 常温流通 事業 | 低温流通 事業 | 酒類流通 事業 | 海外事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 386,996 | 53,397 | 98,761 | 22,031 | 561,187 | 3,612 | 564,800 | — | 564,800 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 214 | 144 | 13 | — | 371 | 3,102 | 3,474 | △3,474 | — |
| 計 | 387,210 | 53,542 | 98,774 | 22,031 | 561,559 | 6,715 | 568,275 | △3,474 | 564,800 |
| セグメント利益 | 5,263 | 151 | 407 | 101 | 5,924 | 607 | 6,531 | 23 | 6,554 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に物流事業であります。

2 セグメント利益の調整額23百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。